

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	伊藤 貴史	学校名	愛知県稲沢市立小正小学校
実施学年	5年生	教科	学級活動
単元名	(1)学級や学校の生活の充実と向上 学級力向上プロジェクト ～よりよいクラスを目指して～		

《学びを深めたいポイント》

12月の「学級力アンケート」の結果を、教師から与えられた数値としてではなく、児童が自分たちの成長や課題として「自分事」として捉えることを深めたいポイントとします。客観的なデータに基づき、「どの項目を伸ばせば、より良いクラスになるか」を多角的に議論し、納得感のある1月のクラス目標を決定するプロセスを重視します。

《SKYMENU 活用のポイント》

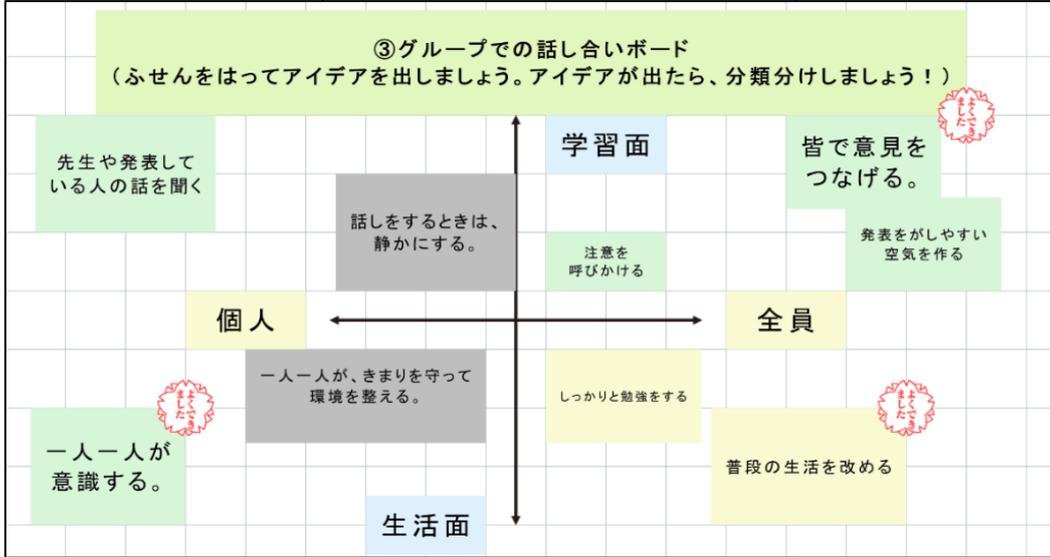
発表ノート(グループワーク): 解決策をリアルタイムで共同編集し、短時間で多様なアイデアを集約します。
比較表示・発表機能: 各班の意見を一覧で比較し、クラス全体の合意形成をスムーズにします。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
	<p>○データの読み取りと実感の共有</p> <p>・12月の学級力アンケート結果を確認し、現状の「強み」と「弱み」を整理する。</p>	<p>【発表ノート】</p> <p>アンケート結果(レーダーチャート)をノート背景として配付し、気づきをペン機能で書き込む。</p>	<p>視覚的な分析の促進:紙では見にくい細かな数値も、各自の手元で拡大して確認できる。良かった点、課題点をペンで囲むなど、色分けして分析させる。</p>
導 入			

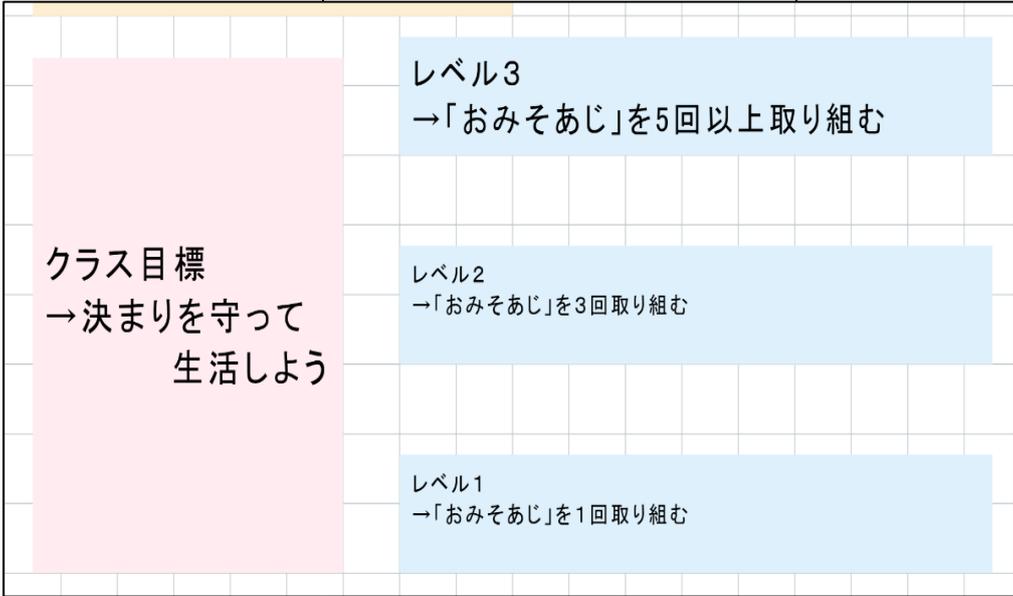
<p>○アクションプランの創出 ・どの力を、どのように良くしていくか、具体的な解決策を班で話し合う。</p>	<p>【発表ノート（グループワーク）】 班で1枚のノートを開き、「どうすれば伸びるか」のアイデアを付箋機能で出し合う。</p>	<p>同時並行的な意見集約:全員が同時に書き込めるため、短時間で多量のアイデアが出る。具体的な行動案に絞り込む際、付箋を動かして整理・分類させる。</p>
--	--	--

展開



<p>○クラス目標の階層化と決定 ・班ごとに「レベル1~3」の目標案を作成し、クラス全体で共有・比較する。</p>	<p>【提出ボックス・比較表示】 班の目標案を提出し、一覧表示で比較する。</p>	<p>多角的な比較検討:各班のレベル設定を並べて見ることで、「全員が達成可能か」「挑戦しがいがあるか」を客観的に判断し、合意形成をスムーズにする。</p>
---	--	--

まとめ



《実践を振り返って》

1学期にプリントのワークシートで進めてきた授業の流れに基づいた論理的な思考の流れと、スカイメニューによる情報の可視化が融合し、児童が主体的に進める話し合いが実現できた。

特に「意見集約」で全班の案を並べたことで、「どのレベルならみんなが納得できるか」という議論が活発になり、自分たちで決めたという責任感が醸成された。

これまでは紙のワークシートを埋めることに満足していた児童が、ICT を介して他者の意見と対話する中で、自分の考えを更新していく姿が見られたことは、本実践の成果である。

